



急六

受信一六三一
譯始一六五五

譯了一七一五

電〇〇二九二三
電〇〇二九二三

作概

PO 戦闘概報着信艦所

機密第〇六一三二四番電 二分ノ二二

一、自〇四四二至〇六五〇B I 25 P B M 各一機北方ヨリ飛來南東ニ自〇
 八〇二至一一一九 P B M 一機東北ヨリ飛來東北ニ哨戒後飛去ス
 二、自一〇四二至一一一九 B I 25 一機 P 四 U (増槽付) 二三機東北ヨリ
 來襲ス

第一。第二航空基地銃爆撃後東北ニ撃退

三、戦果。被害第二航空基地被弾二發七日復讐ノ見込。

通三三三二〇六

天二Bケ三(一七六三〇KC)四通

宮崎・飯島(酒卷)

人

作戰緊急

三六 受信一六四五〇

譯了二六五〇

電〇二八九七

航作概〇

鹿屋航空基地



一機動基地航空部隊作戰命令着信處所
一七 驅逐隊

機密第〇六一三二八番電 二分ノ一二

一KFGB信電令作第九七號

通信狀況ニ依レバ敵ノ機動部隊ハ集結シ明七日南西諸島方面又ハ本土方面來襲ノ算アリ

一KFGBハ左記ニ依リ第一戰法ヲ以テ作戰スベシ

一、第二警戒配備

二五〇一七九八 可動全力日没時作戦基地ニ進出ノ如ク行動ス

三八〇一部隊ハ〇二二乃至〇三四 〇三八(計八機)夜間哨戒

四七〇一部隊攻撃待機
五餘ノ兵力ハ現配備

通三二七九
通三二八五

呂一〇ヶ五(七八七五) 長井(角田)

20. 3. 7.

68T0

人

三六

受信二一五四二
譯始二一五二一

譯了二二二二三

電〇〇三三一一七六

航作概本〇

緊急

作

第一設輸艦隊

カムラン航空基地

海軍總司令部
第一航空艦隊
一三航空艦隊
一三根
一三十八航戰
大分一部
九〇一航空艦隊
海軍備府
セレター、カットライ、キノン各航空基地

機密第〇六一三五八番電 二分ノ二

發 九三六空司令官

今後當隊佛印派遣兵力ヲ逐次左ノ適配位置致度

一、西貢（カツトライ）ヲ甲派遣隊トス

二、カムランヲ乙派遣隊トス分隊長級ヲ指揮官トス

三、キノンハ左ノ適配地トシ

三四三〇
三四七一

天一B (六二三五 KC) 十通

安彦 (細川)

(一)

20. 3. 7

156

陸地員（准士官以上一名下士官兵約一〇名）ヲ配ス
陸飛行機ハ主トシテ「カツトライ」
「カムラン」ニ配ス
陸飛行機ノ配備ハ概テ昭南佛印各年六刀トス。

二

T610

作

作戰緊急

三
七六

受信二三一八
譯始〇二四〇

譯了〇三三〇

電〇三一

一八

作稿

東通・聯合艦隊口

高

管

下

一航空艦隊口・支那方面艦隊口・護支艦隊口
一護衛艦隊口・臺灣空・沖繩根
佐・南西方面艦隊口・海

機密第〇六一五二〇番電二分ノ二三

三月五日敵機襲來狀況

一〇七三〇一〇九三〇

B L 24 二機

B I 25 一機

臺灣南部 = 侵入

157

二〇九四七一〇五一

P I 38 三機

臺灣南部及馬公 = 侵入

三一一一二一一三〇〇

P I 38 一四機

臺灣中南部 = 侵入

P I 38 二一

侵臺灣南部 = 侵入 鳳山 = 投彈

四一〇四五

B I 25 八機

馬公 = 來襲

通三五〇九

通三四二一

三一Bラ十八

九一五七二

高(石井) 田原

高(石井) 田原

(1)

五 六日〇二五〇ト〇四〇七 B 1 24 一 臺灣南部ニ侵入高雄市内

ニ燒夷彈投下

六 戰果

七 被害

- (イ) 民間死者四名 輕傷一名 家屋大破二 火災數箇所
- (ロ) 鳳山疎開中ノ軍需部倉庫附近ニ極メテ輕微ナル被害ヲ受ク。

三六 受信一九八〇〇 譯了二一三〇 電〇三〇〇五 航作 概本〇

緊急

鹿屋航空基地



木更津航空基地、國分空
詫間航空基地、横濱航空基地

機密第〇六一五五三番電

發 第八〇一航空隊

宛 ベナン半島飛行隊長 八〇一空各派遣隊指揮官

聯合艦隊電令作第五四一號關聯

一 在木更津丁三飛行隊ハ準備出來次第鹿屋ニ進出スベシ鹿屋進出

ニ當ツテハ所要基地物件ヲ外毛布食器類ヲ分積スベシ右輸送ニ

通三三八マ 呂一Bケ五(七六〇五K)鹿屋 霧生(阿部)

20. 3. 7.

當り要スレバ晴空輸送艇ヲ充當シアリ之ガ所要期日知ラヒ詳細
横濱基地指揮官ト連絡セヨ
二、臺中第二國分飛行隊員ハ特令アル迄現配備基地ニアリテ訓練ニ
従事スベシ。

三六 受信一〇八五〇〇 譯了二〇四五 電〇二九八七 航作 概〇
至 急 茂原航空基地



笠ノ原航空基地・鳴尾航空基地・木更津航空基地
東・通・台南、館山各航空基地

機密第〇六一六二八番電

發 第二五二航空隊司令

宛 第二〇三航空隊司令・第三航空艦隊司令長官

通報 大本營海軍參謀部第一部長・第五航空艦隊司令長官

一五三〇零式輸送機二機（燕・二〇三空各一機）姫路航空隊戰鬥第三

三飛行隊ノ移動完了ス。

通三三九〇 呂一八々五（木更津 西河（福田）

三六
受
始
二〇二〇
二〇二〇
二〇四五
二〇三〇
作
概
〇

緊
急

第一
根



第一
護
衛
隊
日

第一
南
進
隊
日

機密第〇六一六四二發電

一五
機密第〇五〇四〇一番電開聯

佛領印度支那緊迫事態ニ鑑ミ呂號第三號潜水艦ハ三月中旬迄當方面ニ
在リテ現任務ヲ續行ノコトニ是非共了承リ得度。

東通陸 呂號第三潜水艦ハ五十鈴 開進丸トモ譯シ得

海三四二七 呂一四八十八(六三三五K)十通 佐藤(小野 田)

20. 3. 7

三 七 受信〇九五九 譯了二二二五 電〇三三九二
譯始一〇一五

作大東亞省
南政
參本

二四通・一〇通
通報表示 東通

機密第〇六一七一六番電 二分ノ一二

發 總參謀長

20. 3. 8

宛第十方面艦隊 第四兩遣艦隊各參謀長 岡
參次官 大塚 輝 本義信 〇方面艦隊 第四兩遣艦隊
威參三電第二〇四號ニ對シ邦人ノ内地還送ニ關シテハ當軍トシテハ
岡參三電第四〇五號ノ意見ニ同ジ現在ノ情勢下ニ於テハ原則トシテ
一般邦人ハ之ヲ還送トス凡テ總力戰ノ一員トシテ挺身トシムル方針
ナリ但シ阿波丸ノ場合ノ如ク内地ニ於ケル戰力昂揚ノ爲緊急ニ必要
ナル人員及特ニ現地ニ於ケル戰力ノ妨害トナル者ニ付テハ輸送ノ可
能ナル範圍ニ於テ之ヲ還送スルヲアリ今後トモ右方針ニ徹シ邦人
三三六五九 呂一〇ラ十八(一七五九〇)十週 日野原(新共)(一)

ヲ鼓舞激勵シテ其ノ士氣ノ昂揚ヲ圖リ總力戰體制下歩調ノ齊一ヲ害ス
ルガ如キ者ノ絶無ヲ期スルガ如ク御指導相成度
陸軍省ニ傳ヘラレ度

二

三六
受
始
二二〇〇
二一五
譯了
二二〇〇
電〇三〇〇六
整
基

緊急

鹿屋航空基地

舞 鎮

美保空・小松島空

機密第〇六一七四九番電

發 第五航空艦隊參謀長

靱強ナル航空作戰實施ノ爲ニハ美保 小松兩基地ニ大型機増勢ノ要切
實ナルモノアルニ付上記滑走路一五〇〇米延長工事（大型機過荷車狀
態離着陸可能）ハ可及的速ニ完成スル如ク促進方特ニ配慮ヲ得度。

通三四五二、呂一B分五、三八〇ニ、五KG（鹿屋 村松（小野 田）

20. 3. 7-

作戦緊急

三七

受信一三二二〇〇
譯始一三五〇〇

譯了一五四〇 電〇三三八四 作
概

③ 三〇根

③

三〇根戦闘概報着信艦所・一聯合基地航空部隊△
先遣部隊P・五航空艦隊P

③

四六警備隊・ヤツブ航空基地

機密第〇六一八一〇番電

第三〇根據地隊戦闘概報（三月六日）

一、パラオ附近行動敵艦艇一二三〇輪送船二（一五〇〇噸滿載）特務艦

一隻小艦艇二隻運貨船三隻コスソル水道入港

三、〇六一七ヨウ一七〇〇迄P四U一延二四機TBF一、四機PI

三八、一機PBY一、一機計三〇PPニ來襲銃爆撃

三、六日敵艦艇碇泊状況

(イ) コスソル水道大型輸送船十二中型輸送船一小型輸送船九大型油槽

船三型油槽二小油槽一艘二隻小艦艇一隻
船三型油槽二小油槽一艘二隻小艦艇一隻
油槽二小油槽一艘二隻小艦艇一隻
油槽二小油槽一艘二隻小艦艇一隻
油槽二小油槽一艘二隻小艦艇一隻
油槽二小油槽一艘二隻小艦艇一隻
油槽二小油槽一艘二隻小艦艇一隻
油槽二小油槽一艘二隻小艦艇一隻
油槽二小油槽一艘二隻小艦艇一隻
油槽二小油槽一艘二隻小艦艇一隻

20. 3. 8-

人

三 七 受信一四三五〇 譯了一四三〇 電〇三三五九 作 概
譯始一四一五〇

緊急

ヤツブ航空基地

五基地航空部隊戦闘概報着信艦所

三〇根



機密第〇六一八一五番電

20. 3. 8

六日戦闘概報

一〇八〇〇一 一四五 PBY 一機グラマン其ノ他七機一〇〇度ヨリ來
襲バラバツト地區銃爆撃後七〇度ニ去ル一〇〇一 一一一五 F四U
八機三二〇度ヨリ來襲トミール銃爆撃後二四〇度方向ニ去ル
其ノ他視界内飛翔 PBY 一機

三 戦果被害ナシ

三 第一飛行場滑走路一四〇〇幅六〇米使用可能。

通三七七〇、呂二Bラ一四(一五七一〇)三通、高橋(小澤)

三 七 受信一四一五 譯始一四三五 譯了一四五五 電〇三三二一 作 概



五 基地航空部隊戰鬪概報着信艦所
三 十 根 P

機密第〇六一八三五番電

戰鬪概報三月六日

- 一 昨夜夜戰延九機威赫飛行ヲ行フ
- 二 P四〇延九機來襲銃撃數回 P 138一機飛行場地區偵察
- 三 視果内飛翔機 P四〇延二七機・T B P八機・P B Y二機
- 四 戰果、被害ナシ。

通三七八四

呂二B亂十四(一五七一〇)C(三)通

四村(酒卷)

20. 3. 8-

三七 受信〇二九五 譯了〇四四五 電〇三一四一 作 機
譯始〇四二〇

緊急

支那方面艦隊口

海 陸 警 備 府



東浦・二道支艦隊口・揚根ト・一一根ト
海南警備司令部

機密第〇六一八五三番電 三分ノ一

海南警備府戰術概報

一本日午後B二五延約六〇機、P三八約八機三亞ニ來襲山岳地帯ヲ迂回
一三〇九及一三三〇ノ二次ニ亘リ超試空ニテ主トシテ飛行場及官衙地

帯銃爆撃セリ

三、一二四八 三亞電探 標捕捉(一一〇軒) 九〇一空零戦一四邀撃。

「電信課註 本電其ノ二、三未着」

通三五七一 天Bケ六(七四六五KG) 上海 島(薄羽)

20. 3. 7

166

三七

受信開始 〇四四〇九

譯了 〇七〇〇 電 〇三一六六 作機

緊急

海南警備府

支那方面艦隊



東通・基隆航空基地・二遣支艦隊、一、一、根、高通

20. 3. 7.

機密第〇六一八五三番電

三分ノ二

ミカラバン

(イ) 空戦 P 三八 二機撃墜 (内不確實一)

(ロ) 對空砲火 B 二五 八機以上撃墜

(ハ) 捕虜現在二

被害零戦四機未歸還 (内落乗員一名落下傘降下生還) 着陸時大破

二機一三空一式陸攻一 (微用輸送機一炎上)

電信課註 本電三分ノ一既配布三分ノ三未着

三五九三 天二、ケ六 (四〇四五KG) 高通

霧生 (渡瀬)

三、七 受信一〇九〇二四 歸丁一一〇〇 電〇三二一〇 作よ 概

緊 急



支那方面艦隊口
東通・務根P・二道支艦隊口・高通
海警部隊・一一根P

海 南 警 備 府

機密第〇六一八五三番電

三分ノ三

通報 次官 次長 高雄警備府長官

家産全焼三棟半 製約一〇棟具ノ他調査中ナルモ被害輕微

云捕虜ノ言ニ依レバ日二五八第五航空部隊ニ屬シ今朝「クライトワイ
ルド」ヲ出發P三八ノ基地不明ナルモ北菲ヨリ出發洋上ニテ會合セ
リト。

電信課註 本電三分ノ一、二配配布
通三六五六 天日ケ六(一四九三〇K) 上海 齊藤(上野)

20. 3. 8-

三六

受信開始
〇〇二〇一五五

終了
〇〇四〇〇

電
〇〇三〇六五

作
〇

一機動基地航空部隊

鹿屋航空基地



大海軍一部・聯合艦隊口・支那方面艦隊口・佐
四海上護衛隊・二〇戰隊

機密第〇六一九〇九番電 二分ノ二

發 八〇一空司令

鹿屋航空基地機密第〇二一六二〇番電調聯

不時着機歸投後調査研究ノ結果八〇一部隊戰鬥速報(三月一日)ニ
左ヲ追加ス

一 區夜間哨戒一六〇度線哨戒機ハ二日〇四四〇地點「ミイ三ス」

ニ於テ一詳〇四四五地點「ヨラニセ」ニ於テ二詳ノ敵部隊ヲシキ

反射波ヲ探知セリ天候險悪ナリシ爲實際ヲ確認セザリシモ反射波

ノ狀況竝ニ一九〇度線哨戒機未歸還ニ鑑ミ該方面以東敵ノ大部隊
存在セシ算大ナリ

三 右ハ特異ノ波形ヲ示シアリタルニ鑑ミ敵ハ妨害手段ヲ講ジアル算
アリ

通三四八五 通三四八九 西一Bケ五(三九三七、五PO) 一KRGB放 末河、長井(杉本)

20. 3. 7

人

三六

受信二三三五
譯始二三三五

譯了二三五五

電〇三〇八六

作概〇

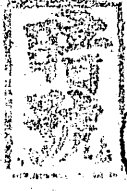
作戰緊急

停

● 九〇一空・大村、館山各航空基地

● 九〇一空（新竹、龍華、淡水、戊各航空基地）

● 九〇一空（東港航空基地）



機密第〇六一九一一番電

通信情況ニ依レバ敵機動部隊明七日南西諸島方面又ハ本土方面來襲ノ算アリ、各隊ハ被害極限ニ關シ萬全ノ準備ヲナスト共ニ要務又ハ空軍機ノ發進時刻並ニ航路等特ニ留意スベシ

通三五一六 於十四（四七〇五K）高雄 日高（雨谷）

20. 3. 7.

三六受信 二〇五九 譯了 三三〇〇 電〇三〇三〇 作 概 部〇

● 總無線艦所用共通符號

● 南西方面艦隊 尸



● 大海參一部・聯合艦隊 尸・第三一通第五分遣隊

機密 第〇六一九一二番電

發 聯合艦隊參謀長

南西方面艦隊機密第二六一〇四五番電 關聯

先遣部隊潜水艦ハ目下南方諸島方面作戰ニ可動全力ヲ集中シアリテ
當分N P 方面ニ對スル充當潜水艦ナキヲ以テ了知アリ度。

通三四四九 呂二Bラ十八 (B) (G P 尸 奥山 (小野 田)

20. 2. 7

三六 受領二二一五 丁二二三五 〇三四 共 〇三四 災病 〇

● 軍 務 局

共



簿番號〇六一九三〇番號

發 簿ンゲ一三二二設營隊長

昭和二十年二月所轉帳者月表

三 一ケ(一三八 一キ)三四二(ト)〇

172

20. 3. 7.

電信
記録

三三〇八八

天二〇ケ六(日)佐通

海 軍
田中(山中)

作戰緊急

三六

受信二一〇七

譯了二一一五

電三〇八八

諜通

高

通



大和田通信隊

大和田通信隊

高警部隊・海警部隊・南作戰部隊・一護衛艦隊
二遣支艦隊・南支那海方面船團船舶

機密第〇六一九五九番電

一八五八ミンドロ航空基地ハ一般宛左記平文送信セリ

「海南島榆林ニ船舶一一隻在リ」

通三四八一

於一四(四五七二五)高放

日高(杉本)

人

三八 受信一四四五 九 譯了〇一四〇 電〇四〇六四 作概



支那方面艦隊口

東通・高通・二遣支艦隊口。一特根下。揚特根下。海南警備部隊

海南警備府

機密第〇六二〇一三番電 二分ノ一

海南警備府部隊概報 三月五日

一、ウルクタベル島敵匪討伐綜合戦果（自二月十六日至）

(1) 戦果射刺殺五三捕虜五四歸順五八〇鹵獲品小銃九獵銃二四拳銃

七一

(2) 我方損害 戦死兵一巡警三戰傷兵二

(3) 交戦回數四八

二、同右綜合戦果（自二月一日至二月二十八日）戦果射刺殺一六二捕虜

九七歸順一七鹵獲品小銃四六獵銃三三拳銃二三シヤンク二。

通信 呂一Bケ五(一三五二〇K) 高通 坂本(岩崎)

0211

20. 3. 9

三七 受信二〇一五 譯了二一五七 電〇三五九〇 作 概
譯始二一〇〇

海南警備府

支那方面艦隊



東通・揚根・高通・一〇六一航空隊・根

機密第〇六二〇一三番電 二分ノ二

通報 次官 次長 高雄警備府司令長官

回我方ノ損害戦死兵二名巡警五名戦傷兵巡査二名

以交戦回数九六回

三敵機來襲状況 前回同様在支米空軍本島來襲ハ(銃撃)一ナルモ

近海航行船舶ニ對スル哨戒攻撃ハ煩繁ナリ

一電信課註 本電二分ノ一未着

通三九六四 呂一〇々五 (七四六五) 上海 原(三石)

20. 3. 8

人

三六 受信二二五六
講始二二一〇六
講了二二一〇〇
電〇三二二〇
謀通
作戰緊急

情報警信艦所・五航空艦隊口・一護衛艦隊口・各艦、各機

機密第〇六二〇二五番電 二分ノ一

情報報(六日)

五日敵機動部隊ハ再ド策動ヲ開始セルモ、如ク其ノ指向方面ノ未詳ナルモ西部NB以西ナル筈アリ

一、從來敵機動部隊來襲前出現シアリシ機動部隊時設改名符宛示令電ト認ラレル作戦特別緊急電報五日三返出現セリ

二、三日四日NM方面ヨリ機動部隊宛被信活潑ナリシ處五日減少シ同

三、三五〇七 呂一B 大和田 中村(吉井)

20. 3. 7-

日以降同方面測定艦船極減シアリ

三 四日M B O方面哨戒核NR方面偵察ヲ實施シ該情報ハ機動部隊指揮官及N M E方面上陸部隊指揮官ニ轉送セラレタリ 更ニ五日P S A方面哨戒核一核ハNR方面長距離哨戒ヲ實施セリ

四 五日以降N M E、B S A方面哨戒核ハ我南哨戒線ニ對スル偵察再ド嚴重ニシテ該偵察電ハN M E方面航空部隊指揮官ヨリ策動中ト認メラレル部隊宛放送セラレアリ

三 七
緊 急

受信 〇〇一四二
譯始 〇〇二三〇

譯了 〇四〇〇

電 〇〇三一五
電 〇〇三一五

航 〇〇
作 〇〇
本 〇〇



〇 〇

九〇一空三亞派遣隊・サイゴン、ナトラン各空基地
一護衛隊隊口・一三航空艦隊口・九〇一空・九三六空昭南派遣隊

機密第 〇六二一一〇番電

二分ノ二

20. 3. 7

發 ツーラン陸軍飛行場長

近時敵飛行機來襲頻繁ニシテ被我ノ識別困難ヲ極メアリ依テ左ノ如キ飛行ニ變更ス

一、飛行場ニ着陸セントスル飛行機ハ高度一〇〇〇米以下ニシテ「フアイホール」(ツーラン東南二五軒)上空ヨリ飛行場ニ進入スルモノトス

二、飛行場上空ニ侵入セントスル飛行機ハ晝間ニテハ翼ヲ左右ニ數回フリツツ侵入旋回シ夜間ニテハ翼燈ヲ數回點シ數回點滅
通三五五六
通三五五六
天一Bラ十二(六二三五)十通
野入澤(杉本)ノ

スルモノトス

三前二項ヲ嚴守セザル飛行機ハ敵機ト

見做

尙飛行通報ヲ確實迅速ヲ期セラレ度。

シ撃墜スルコトアルベシ

①



三七 受信開始〇〇二〇六
譯了〇三三〇 電〇三〇八一 作 概〇
作戰緊急



● 第一〇航空隊

● 第八基地航空部隊

機密第〇六二一四〇番電

第八 F G B 電令作第三號

一 本朝來敵機動部隊旗艦哨戒機ヨリ作戰特別緊急電報五通緊急信一
通受信セルモ全然電波ヲ輻射セズ 嚴重電波管制ヲ實施中ニシテ策
動ノ兆濃厚明日本土來襲ノ算大ナリ。
二 明七日〇六〇〇以後第二警戒配備トナセ

五三五四三 另二〇五五 (B) 横須賀 川崎 (土) 谷

三 七 受信一八五〇 轉了二二〇〇 電〇三三二九 作 〇

緊急 一三四四 〇



機密第〇五〇二二六六電

20. 3. 8- 180

宛 二三航空戦隊司令官 十方面艦隊長官

一 第十方面艦隊電令第十號ニ依ル轉出員數

カンダリ二三一、マカツサル一四〇、カタサ五二（マカツサルニ向ケ轉進中）、アンボニー三三（内九名ハマカツサルニ向ケ轉進中）

令濟）、シマツニー七（現ラジアン艦地全員）、ボートプリン

三九（管隊ニ一時勤務ヲ命ゼラレタルモ等級氏名等一切不詳）

通三九一〇 呂宋（一八三六七五） 三二通片 吉田 田志

計九二三名ナルモ已ニ健康者ハ多數ニ達セシメタルニ付
ノトノ虚弱者ヲ含ム

二石ニ携行セシムヘキ兵器

小銃一〇〇同彈藥二三六〇〇、七倍七倍銃一七同彈藥七八二〇〇、

二十倍鏡銃八同彈藥六五〇〇

兵器發令濟四噸半容積約二〇立方米。

(一)

三七

受信開始 〇〇六二一八 終了 〇六五七 〇〇三一八二 作機本〇

作戰特別緊急

廣屋空基地

一 移動基地航空部隊作戰命令着信場所



機密第〇七〇四〇九番

一 KFG B 信令作第九八號

一 K 五〇一、九八戰隊七戰隊（綜合訓練參加機ヲ除ク）ハ黎明前根據地ニ歸投スベシ

二 中 K 〇六ハ左ニ依リ Q 區哨戒ヲ實施スベシ

(1) Q 二二 Q 二レ Q 二六（以上三線五〇〇湮） Q 二八 Q 三〇 Q 三二 Q 三三

レ Q 三六 Q 三八。

向先端到達時刻一二〇〇。

通三六一八 呂一Bケ五（三九三七）五 K C（一 K F G B 放

清水（原）

20. 3. 7.

下

(Handwritten mark)

三七

受信開始 〇九〇一五

了 〇九二〇 電 〇三二一五

作概 〇

緊急

(Handwritten character '休')

一海上護衛隊作戰命令着信艦所・一七驅逐隊

鹿屋航空基地

局長	(Handwritten mark)
一課長	櫻野
A	(Handwritten mark)
B	福
E	(Handwritten mark)
J	番
G	H
F	D

發 一 K F G B 指揮官

一四〇〇綜合訓練再興ス

通三六四九 於一五(七八七五KC)一K F G B放

シネ(高橋)

20. 3. 8

182

(7)

ト

三 七 緊 急
 受信 一三〇五
 開始 一三一五
 了 一三四五
 電 〇三三二七
 作 本 〇
 兵 備 〇
 文 庫 〇
 B 二

作

(動) (動)

大臣・海護總口

九〇一空 (香港航空基地) ・一護備隊口

機密第〇七〇九〇〇番電

20. 3. 8-

當 際 香 港 派 遣 隊 署 水 一 機 五 日 一 六 三 〇 哨 戒 ノ 爲 香 港 基 地 發 達 一 七
 〇 〇 以 後 連 絡 ナ ク 哨 息 不 明 暗 號 書 多 七 五 一 册 敵 手 ニ 陷 ル オ ソ レ
 ナ シ ト セ ス 。

通 三 七 三 五 天 二 B ケ 六 (佐 邊 谷 島 (岩 崎)

人



三七 受信一五五〇五 譯了二二二〇 電〇三四七六 作 概

● A A 戦闘概報着信艦所

機密第〇七〇九五〇番電

20. 3. 8-

一、〇二四五 P B M 一機〇三二六 B 二九 四機二〇〇度ヨリ近接高度約

八〇〇米ニテ飛行場ニ投彈銃撃〇四〇〇 二〇〇度ニ擊退ス

二、戦果 二十五耗機銃ニテ B 二九 一機胴體內ニ火災リーフゼウニ墜

陸生存者見當ラズ

三、被害ナシ

四、着發及三〇分乃至一時間半ノ時限 爆彈ヲ混用セリ。

通三八四九 天 B (一七六三〇 KC) 通 佐藤 (森 田)

作

三七 受信二〇〇一五
開始二一〇一五

了二二一五 〇三六二六

作概本〇

九〇一空本隊

九〇一空派遣隊 (高雄航空基地、皮航空基地)
九〇一空派遣隊 (三所航空基地)

海上設備部・一機務隊部・サイコン航空基地

20. 3. 8

185

秘密第〇七一〇〇〇奉電 其ノ二

通報 特別掃蕩隊指揮官

三、高雄派遣隊指揮官ハ特別掃蕩隊ヲシテ遠ニ「戊」基地ハ状況ニ

依リ大村一 移動次期作戰ヲ自達トシ急遽整備ニ任ゼシムベシ

一、電信課註 本電其ノ一未着

通三九五八

天一月ケ五

日

佐通

福島(吉井)